

Moore至誠監査法人

IPO支援業務のご案内



公正に、誠実に。

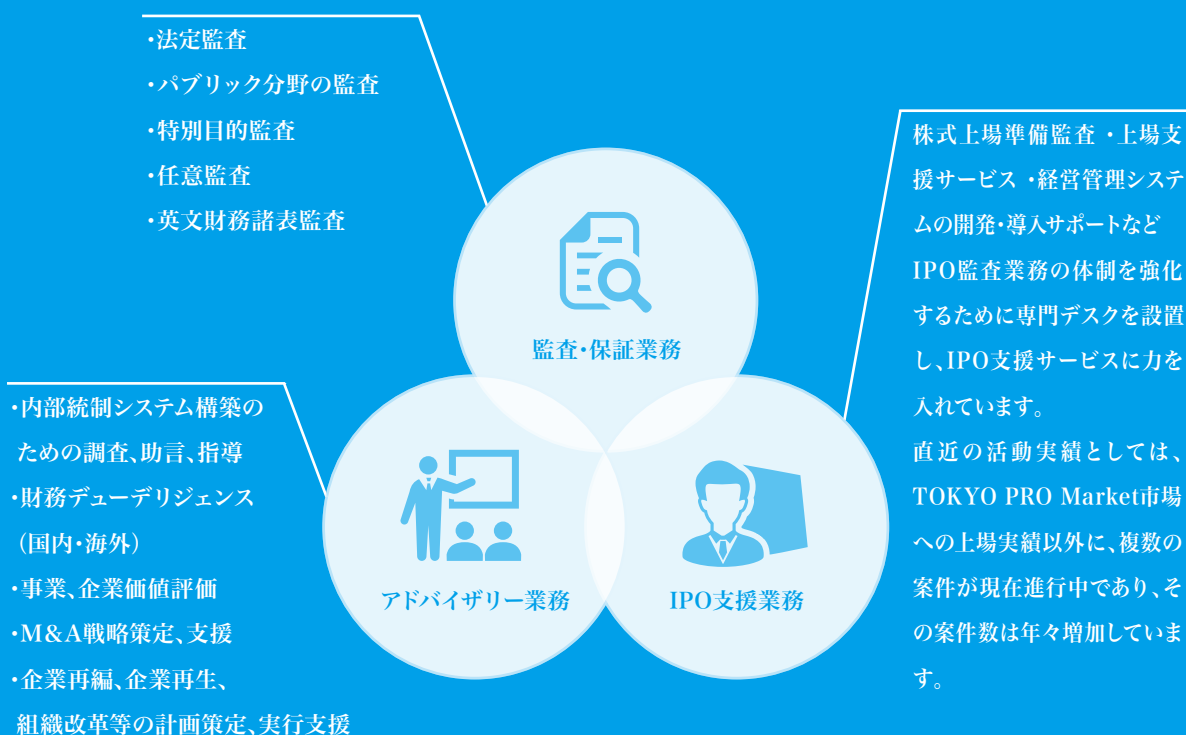
監査業務の最重要命題は、
監査品質の追求であると私たちは考えています。

多様な経済環境に柔軟に対応しつつ、
安定した監査品質を維持するために、以下の3つを大事にしています。

- 本質を見抜く力
- 高い専門性
- 企業活動についての深い知識と理解

これらについて、たゆまぬ自己研鑽に努めるプロフェッショナル集団、
それが“Moore至誠監査法人”です。

事業概要



クライアントや仲間との 信頼関係を大切に

私たちは、「知識」「秩序」「コミュニケーションを円滑にするための努力」の3つの柱を大切にしています。

「知識」や「秩序」は公認会計士として当然身につけるべき必要不可欠なものです、お互いに「コミュニケーションを円滑にするための努力」も同じくらい重視しています。

特に公認会計士としてサービスの品質を保持するためには、「聞く力」「伝える力」「汲み取る力」というコミュニケーション力が欠かせません。たとえばクライアントに対しても、創業背景、創業者の人柄、歴史、強みなど相手を理解しようとする姿勢があれば、相手からも信頼していただけます。その信頼関係があつてこそ、クライアントの立場に立った良いサービスが提供できます。

IPOは、会社にとって飛躍的に発展を遂げるための重要な転換点であります。一方で、IPOを目指す会社の中には、急激に成長したために社内の内部管理体制が不十分であったり、安定期ではあるけれども、上場会社としてのコンプライアンス意識などを向上させる必要がある会社など、リスクは多様であり画一的な枠組みでは対応が難しいと考えています。Moore至誠監査法人では、大手・準大手監査法人出身のIPO経験者を中心としたIPOデスクで、機動的にかつ信頼関係を大切にしながらクライアントをサポートし、資本市場の活性化の一端を担っていきたいと考えています。

理事長 吉村智明



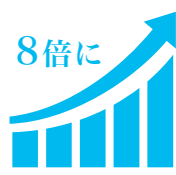
No1 中小規模の監査法人だから

- ◆ キャリア10年以上のメンバーが約半数在籍している
- ◆ 経験豊富なメンバーを筆頭にバランスのとれたチームを構成できる
- ◆ フラットな組織形態で、柔軟な対応と早い意思決定が可能
- ◆ 法人設立以来、JICPAレビューや金融庁検査における勧告・処分は過去に一切なし

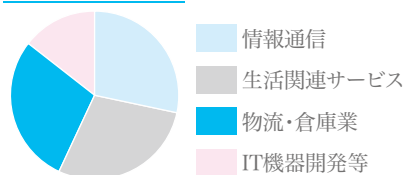


No2 経験と実績

- ◆ 従業員数は約70名でその半数以上が大手・準大手監査法人での勤務経験があり担当案件の業界も幅広い
- ◆ 案件数は年々増加し、約10件ほどが現在進行中問い合わせ件数は昨年に比べて8倍に！



進行中の業界割合

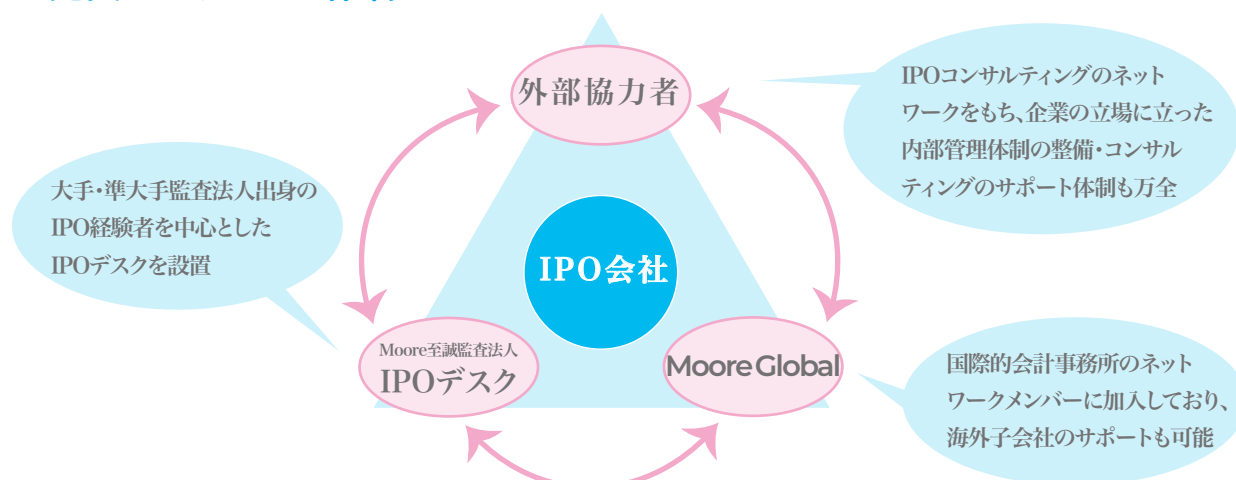


IPO経験者が過去に担当した案件内容

市場	業界	件数
東証1部	不動産・IT関連・製造	3
東証2部	IT関連	1
JASDAQ	建設・リサイクル	2
東証マザーズ	不動産・IT関連・金融商品仲介	6
名証セントレックス	住宅販売	1
合計		13

(2021年11月1日現在)

No3 充実したサポート体制



IPOではこんなところを大切にしています

IPO担当の会計士が語る



会計士 27年目 パートナー

昨今、中小監査法人の監査品質が認知されてきており、IPOを目指す企業からの問い合わせ件数が増加傾向にあります。このような状況を受けて私たちは、高い品質を保持しながらIPOを目指す企業の監査の担い手となるために、2020年にIPOデスクを設置しました。IPOデスクでは、IPO経験が豊富な人材が初期段階から関わることで、早期に重要課題を把握して段階的な目標設定を可能にし、結果的に各企業に合ったIPO準備を行えると考えております。Moore至誠監査法人は、充実したサポート体制で、みなさまの希望を叶えるお手伝いをさせていただきます！

過去に、TOKYO PRO Market市場に上場した会社を2社担当し現在は、当該市場に上場予定の会社をいくつか担当しています。IPOの作業を進めていく中では、様々な問題が発生することが常ですが、【クライアントとのコミュニケーションを大切にする】 【クライアントに対して適切な指導機能を発揮する】ということを特に意識して、日々、監査業務を行っています。Moore至誠監査法人では、経験豊富なメンバーでIPOを目指す会社をサポートします。



会計士 19年目 パートナー



会計士 25年目 パートナー

私は、大手監査法人時代の経験を活かしつつ、現在IPO業務に携わっています。未来あるベンチャー企業が上場して成長するのは、大変素晴らしいことだと考えていますが、一方で監査人としての責任の重大さも感じています。厳しい審査や監査をクリアした会社は、IPOを通じてビジネスを拡大し、結果として社会や経済に大きく貢献するようになります。これこそがIPOの最大の効果であり、私たちはその中で与えられた役割をしっかりと果たすべきだと考えています。

Moore至誠監査法人の魅力

IPOデスク責任者： パートナー 浅井 清澄

当法人が選ばれる理由は、企業ごとの様々なご要望に対する、対応力の高さにあると思います。

実際にクライアントのみなさまにアンケート調査をした結果、

【信頼関係を重視している】 【意思決定・対応が早い】 【担当する会計士の経験が多様で豊富】

といった回答を数多くいただきました！

Moore至誠監査法人は、誠実をもって信頼の輪を広げ、IPOに邁進する企業のみなさまを全力でサポートします！





法人情報

- 法人名 ▶ Moore至誠監査法人
- 住所 ▶ 〒100-0005 東京都千代田区
丸の内2-2-2 丸の内三井ビル2階
- 人員構成 ▶ 66名(2021年11月1日現在)
(代表社員15名/社員2名/特定社員1名/公認会計士〈非常勤含む〉36名/
日本公認会計士協会準会員4名/システム監査技術者1名/事務職2名)
- クライアント数 ▶ 約130社(2021年11月1日現在)